

北九州市

KITAKYUSHU CITY

## 農林水産だより

平成24年

新春

No.187

No.1109011F

北九州市産業経済局

農林水産部農林課

電話 (093) 582-2078



## 新年のごあいさつ

北九州市 市長

北橋 健治



新年明けましておめでとうございます。

さわやかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、我が国に甚大な被害をもたらしました。本市では、被災地での復旧支援とともに「絆プロジェクト北九州会議」を立ち上げて、本市での被災者の方々の受入れに最大限の努力をいたしました。被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

さて、本市の農林水産業の現状は、生産者の高齢化や後継者不足、農林水産物価格の低迷など厳しい状況が続いています。

このため、本市では、「地産地消」をキーワードとして、本市の豊かな「食」の情報発信やブランド化、食育の推進、生産者と食品加工業者、消費者を結びつける「地産地消サポーター制度」の創設など新たな切り口からの農林水産業の振興に取り組み、その成果も見え始めているところです。

こうした状況の中、本市では昨年8月、今後5年間の本市農林水産業の具体的な方向性を示す「北九州市農林水産業振興計画」を策定しました。

計画では、まず、農林水産業の基本である農地や林道、漁場など生産基盤の整備を進め、生産性の向上を図ることとしています。また、将来を担う経営感覚に優れた生産者の育成、地産地消の推進などの取組によりビジネスとしての農林水産業の実現を目指します。

さらに、農林水産業の持つ環境保全など多面的価値に着目し、本市が目指す環境首都実現の一環として、耕作放棄地の再生や荒廃森林・放置竹林の整備、藻場・干潟の保全など里地・里山・里海を保全し、将来にわたって持続的な利活用が可能な環境整備に取り組みます。

これらの取組により、計画の最終目標である「農林水産業者の所得向上」と「環境首都を実現する農林水産業の振興」の実現に向け最大限の努力をまいります。

新しい年が、皆様にとって実り多き年でありますことを心からお祈りいたします。

北九州市主催第20回  
小倉牛枝肉共進会結果報告

と き 平成23年11月6日～10日

と ころ JA全農ミートフーズ株式会社九州支社  
(太宰府市都府楼南5-15-1)

入賞者 優等賞 榎野賢剛(小倉南区)  
一等賞 榎野保博(小倉南区)  
二等賞 前田康典(小倉南区)  
特別賞 奥田一夫(小倉南区)

第47回福岡県  
肉畜共進会の和牛部門

銅賞受賞 榎野賢剛

銅賞

第7回ふくおか良質堆肥  
コンクール大家畜部門

優秀賞受賞 JA北九小倉有機センター

優秀賞



今年も  
大盛況  
でした!

## 第25回北九州市農林水産まつり



11月19日、20日の2日間、市立総合農事センターで「北九州市農林水産まつり」を開催しました。秋の恒例イベントとして絶大な人気を誇るこのおまつりも、今年で25回目。あいにくの天気にもかかわらず、およそ19,000人の人出で賑わいました。

旬の食材が勢揃いする農水産物の販売コーナーでは、開場と同時に押すな押すなの盛況ぶり。漁師さんの威勢のいい呼び込みとともに始まったカキの販売コーナーでは、「豊前海一粒かき」ファンが集まり、用意したおよそ600キロのカキは、あっという間に完売しました。また、精肉コーナーも大盛況で、中でも「小倉牛のもも丸焼き」の美味しそうな香りに、長蛇の列ができていました。

展示ホールの「親子木工教室」では、木ぎれクラフトや椅子づくりが行われ、終日子どもたちの楽しそうな声が響いていました。

さらに、市内高校生による鍋対決、北九州市調理師連合会による「料理コンクール」、東北地方の郷土料理「食ってけろ!芋煮対決」などのユニークな調理イベントや「ゆでたこの作り方教室」「食育はしづくり&はし使い教室」といった大人から子どもまで参加できる参加型イベントも大盛況でした。これらのイベントは多くの来場者の目を引き、食に関わる皆さんが大いに「地産地消」をアピールできる絶好の場となりました。

今回のまつりは、「北九州から元気発信!」をキャッチフレーズに、東日本を少しでも元気づけられるよう、収益の一部を義援金として、「絆プロジェクト北九州」へ寄付しました。



普段は一般の人が体験できない「野菜の模擬せり」も大盛況!

## 福岡県からのお知らせ ~ふくおかの農業応援団づくり事業が始まります~

北九州市では、生産者、食品販売、外食産業、消費者など食に関わる様々な立場の人をつなぎ、地産地消を進めることで、市内の農林水産業を応援する「地産地消サポーター制度」を行っています。このたび福岡県でも、県産農産物を積極的に購入し、食べることで福岡県の農業を応援しようという趣旨で、「ふくおかの農業応援団づくり事業」がスタートしました。

農業応援団には、「応援ファミリー」と「応援の店」とがあり、登録される方を募集しています。

「応援ファミリー」は、県産農産物を積極的に購入しようという方で、メールマガジンでの情報配信や農業農村体験ツアーへの招待などがあります。また「応援の店」は、県産食材を積極的に使用する飲食店で、県のホームページなどで紹介していくことにしています。

- ふくおかの農業応援団づくり事業のお問い合わせは  
ふくおかの農業応援団 <http://f.ouen.com/>  
福岡県農林水産物安全課(電話 092-643-3158)
- 北九州市地産地消サポーター制度のお問い合わせは  
地元いちばん、地元を食べよう北九州 <http://www.jimoto1ban.jp/>  
北九州市地産地消推進課(電話 582-2080)



## 消石灰による失明事故の発生に伴う注意喚起について

平成23年4月、農作業中に肥料用消石灰が目に入り左眼を失明するという事故が起きました。消石灰を取扱う際は、十分留意するようお願いします。

農林水産省ホームページ [http://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/kome/k\\_hiryo/lime/](http://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/kome/k_hiryo/lime/)

## 猿喰農地利用協議会が設立されました！

— 猿喰地区の農業振興のための話し合いスタート！ —



幹会員によるあいさつ



設立総会での協議状況

10月24日(月)、門司区猿喰公民館で、猿喰地区の農家と門司区選出市議会議員、農業委員および北九州市をはじめとした関係機関の出席により「猿喰農地利用協議会設立総会」が開催されました。

この協議会は、高齢化による地域農業の担い手不足が大きな課題となっている門司区猿喰地区において、平成22年8月から10回にわたり、農業委員と地区農家の有志による「猿喰農業を考える会」として猿喰地区の農業振興について真剣に話し合った結果、住民が主体的に集落の振興について協議する場が必要だということになり設立されたものです。

会場の門司区猿喰公民館では、協議会の設立に向けた最終確認を行った後、出席者全員の同意により協議会の設立が承認されました。今後は、地区内農家へ協議会設立の主旨及び今後の活動計画を周知していくとともに、年3回程度協議会を開催し農地の利用調整や担い手の確保、耕作放棄地の解消に向けた活動等、猿喰地区の農業を振興する方策について話し合っていく予定です。

会長に就任した榊久美さんは協議会設立のあいさつの中で「猿喰の美味しいお米をこれからも安心して作り続けていけるようみんなでお話し合っていきましょう」と出席者に呼びかけていました。

## 福岡県農林水産賞

11月19日、アクロス福岡で第19回福岡県農林水産まつり記念式典が開催され、農林水産賞表彰が行われました。

農林水産賞は、福岡県の農林水産業の振興に顕著な功績のあった農林水産業者に与えられます。

本市からは5人の方が受賞され、賞状と記念品が授与されました。受賞された方は、以下のとおりです。

- ▶ 農林水産賞林業部門名誉賞 中村治雄
- ▶ 同水産部門名誉賞 上野忠義
- ▶ 同農産部門優秀賞 倉成保彦
- ▶ 同畜産部門優秀賞 安川廣行
- ▶ 同地域集団部門優秀賞 北九州農業協同組合農産加工グループ米粉パン工房ライスグランマ(代表者:清水なおみ)



(左から倉成さん、安川さん、清水さん、上野さん、左上円内は中村さん)

## 北九州市漁業協同組合 長浜支所が新築移転しました。

国道199号線の道路改良事業により長浜支所が新築移転しました。漁協事務所に加え、新たな施設として新鮮な魚介類を安定的に出荷するための活魚水槽等も整備しました。今春から、これらの施設を活用した朝市等の直販が予定されており、小倉都心部で市民と水産業との交流が促進され、地域の更なる発展が期待されています。

新住所  
北九州市小倉北区末広一丁目16番16号



## ～農家と作る家庭の味～「親子料理教室」を開催



11月6日(日)、総合農事センターで「親子料理教室」を開催しました。これは、「農業」を通して「食」への理解を促進するため、小学生とその保護者を対象に実施しているものです。

集まった参加者は、園内の圃場に向かい、小倉南区で栽培が盛んな「はくさい菜」の栽培比較試験や若松区で栽培が盛んな「ブロッコリー」の展示栽培を見学しました。

料理の材料とする野菜の収穫では、トマトの黄色い花を興味深く観察したり、初めて見るゴボウの葉に驚くなど、普段触れ合う事のない農作物の生育状況に歓声が上がりました。

収穫が終わるとそのまま調理室に移動しました。

メニューは、「サツマイモご飯」と「野菜たっぷりみそ汁」、「採りたて野菜サラダ」の3品。「サツマイモご飯」は小倉南区合馬で栽培したお米と園内のサツマイモを使用しました。「野菜たっぷりみそ汁」は小倉南区曾根新田の「ひまわり農産加工部の米味噌」を用い、「サラダ」は、自らが収穫したブロッコリーやトマトに若松区竹並の「手作り工房ささやま」の「みかんポン酢」をかけて頂きました。

講師は昨年に引き続き、農産加工品の製造販売に取り組んでいる「北九州市農産加工グループ協議会」の皆様が行いました。

試食をしながらの意見交換では、「市内で収穫される農産物を知って良かった」など様々な意見を聞くことができました。

総合農事センターは、これからも地産地消につながる行事を実施していきたいと思えます。



### 平成24年度 福岡県農業大学校研修生募集

福岡県農業大学校では、農家で品目転換を志す方、Uターンで農業を始められる方等を対象に、短期間での技術習得研修を行う研修科の平成24年度の研修生募集を行います。

- ① 募集を行う科：研修科（野菜、花き）
- ② 募集定員：10名程度
- ③ 研修期間：6ヶ月以上1年以内
- ④ 申込受付期間：平成24年1月4日～2月10日
- ⑤ 面接試験日：平成24年2月24日

#### 研修受講申込書等の請求及び受講に関する問合せ先

福岡県 農業大学校 〒818-0004 筑紫野市大字吉木767  
TEL 092-925-9129  
ホームページ www.fuknodai.jp/

### 農地を相続したら 農業委員会に届出を！

平成21年に農地法が改正され、農地の相続を受けた人が農業委員会に届出をすることが義務付けられました。

農地相続を受けた時には、忘れずに届出をしましょう。また、相続を受けた農地を「売りたい」「貸したい」等の相談も農業委員会で受け付けています。

詳しい事は、地区の農業委員または東西農業委員会事務局までお尋ね下さい。



東部農業委員会事務局  
951-4111 (内線:598)

西部農業委員会事務局  
693-9971

### 【総合農事センターからのお知らせ】 展示栽培実施中

#### ●野菜

品目	品 種	は 種 時 期	収 穫 時 期	栽培の内容
スナップエンドウ	つるなしスナック2号、ホルンスナック	2月下旬	5月上旬～	展示栽培
小カブ	はくれい、京小町	1月上旬	3月中旬	展示栽培

#### ●花き

品目	品 種	は 種・定 植 時 期	開 花 時 期	栽培の内容
フリージア	ピンクサン、テキサス ブルームーン、アンバサダー	9月下旬定植	3月下旬～	展示栽培
キンギョソウ	アスリートシリーズ	9月下旬は種	3月下旬～	展示栽培
スイートピー	ロイヤル混合	9月下旬は種	1月下旬～	展示栽培
ヘリクリサム	モンストローサ	10月下旬は種	3月中旬～	展示栽培

#### ●果樹

品目	品 種	生 育 状 況	収 穫 時 期	栽培の内容
イチジク	とよみつひめ、蓬莱柿、バナース、 ピオーレー・シリエス	落果	8月～	展示栽培